第100号

議会からこんにちは

2026 11.1

100号記念

特集 100号までの歩み

さの市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。➡

佐野市議会 検索

佐野市議会スマート中継 検索

令和8年9月定例会

■令和7年度決算を認定
■決算審査特別委員会で延べ31人が質疑
■一般質問に19人が登壇

議会の活動をお届けして21年!

おかげさまで100号を迎えました

平成17年6月1日に創刊された議会広報誌「議会からこんにちは」が、今回で記念すべき第100号を迎えました。

議会だよりの歴史を表紙と共に振り返り、佐野市議会としてのこれまでの歩みをご紹介します。

第54号　平成28年2月1日発行

平成27年12月10日、新議場の完成を記念して、オープニングイベントを開催。本号では、新しくなった議場を含む7階フロアを紹介しました。

第1号　平成17年6月1日発行

平成17年3月28日に旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町の3つの自治体が合併し、現在の佐野市が誕生しました。

創刊号の表紙は、合併後初の議会となる5月臨時会の様子です。

56

54

ここから始まった、議会だよりの歩み

インターネットによる議会中継・録画配信も始まりました!

52

1

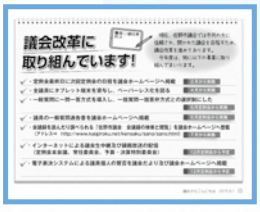
第56号　平成28年8月1日発行

平成28年5月15日に第1回佐野市議会報告会を開催しました。

議員が直接市民の皆さんに議会情報を報告・説明するとともに、議会や市政に市民の意見を反映させるため毎年開催しています。

第52号　平成27年8月1日発行

市民に開かれた議会を目指し、議会改革を進める中、平成27年6月定例会からは、一般質問に「一問一答方式」が導入されました。



第85号　令和5年5月1日発行

議員の政治倫理に関する基本的な事項を定め、議員が市民の信託に応えるとともに、公正で開かれた市政に寄与することを目的とし、令和５年４月１日に佐野市議会議員政治倫理条例を制定しました。

85

第75号　令和3年2月1日発行

「より開かれ信頼される議会」と「議会機能の充実」を目指し、市民福祉の向上と地域社会の発展に尽くすことを決意し、令和３年４月１日に佐野市議会基本条例を制定しました。

75

第62号　平成29年11月1日発行

平成29年８月８日、市内の中学校・中等教育学校（11校）の代表生徒１名が議員になりきり、議場において、市議会と同様の形式で本市に対する一般質問を行う「こども議会」を開催しました。

68　62

直近5年間の
作品を紹介
（令和4年～令和8年）

新春号

議会だより新春号の表紙は、合併前の旧佐野市議会の時代から現在に至るまで、彫刻家・笹川むもん氏による、力強く迫力ある作品が新春を華やかに彩っています。

▶令和8年2月1日発行の第97号でも議場茶会の様子が表紙になりました。

第68号　令和元年5月1日発行

平成31年２月22日市議会定例会開会前に、本市の魅力ある工芸品をPRすることを目的として、天明釜を使用した茶会を議場において開催しました。

それから約６年ぶりとなる令和７年12月５日に、再び議場茶会を開催することが出来ました。

議会だより編集委員会委員長よりメッセージ

市議会だより「議会からこんにちは」は、このたび第100号を迎えました。創刊以来、議会広報の礎を築いてこられた先達の議会人の皆様、編集を支えてきた議会事務局、取材や紙面づくりにご協力いただいた皆様、そして本紙を手に取ってくださった市民の皆様に、心より感謝申し上げます。議会だよりは、議会でどのような議論が行われ、何が決まったのかをお伝えし、議会を身近に感じていただくための大切な架け橋です。情報を得る方法が多様化する中でも、正確さを基本に、読みやすく、分かりやすく、関心を持っていただける紙面づくりが求められています。第100号を新たな出発点として、「伝える」だけでなく「伝わる」議会だよりを目指し、編集委員一同、さらに工夫を重ねていきます。今後とも、皆様の率直なご意見、ご感想をお寄せください。　（早川記）

令和7年度

一般会計決算、特別会計決算、企業会計決算を認定

▶ 決算審査特別委員会（パソコン・スマートフォンなどで録画画像をご覧になれます）

委員長
川嶋　嘉一

副委員長
長浜　成仁

９月定例会では、令和７年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月18日、24日、25日、28日、29日の５日間にわたり審査を行いました。

特別委員会では、一般会計決算に18名、特別会計決算及び企業会計決算に13名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全７件の決算議案を認定しました。（議決結果は５ページをご覧ください。）

令和8年 **佐野市議会　議会中継**

「令和8年第3回（9月）定例会・常任委員会・決算審査特別委員会」からご覧ください。

決算審査特別委員会の様子

▶ 令和7年度　決算の概要

●一般会計及び特別会計

（１万円未満四捨五入）

区　分		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計		728億5,031万円	674億3,880万円	633億2,567万円	41億1,313万円
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	120億4,758万円	109億1,980万円	106億6,150万円	2億5,831万円
	国民健康保険事業（直営診療施設勘定）	3億89万円	2億5,471万円	2億5,471万円	0円
	介護保険事業（保険事業勘定）	125億7,226万円	125億8,431万円	122億7,503万円	3億928万円
	後期高齢者医療	19億1,251万円	18億8,216万円	18億7,997万円	218万円
	小　計	268億3,323万円	256億4,097万円	250億7,120万円	5億6,977万円
合　計		996億8,354万円	930億7,977万円	883億9,687万円	46億8,290万円

（注）各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●企業会計

（１万円未満四捨五入）

区　分		水道事業会計		下水道事業会計	
		予算額	決算額	予算額	決算額
収益的収支	収　入	22億5,334万円	22億3,045万円	39億5,591万円	39億3,773万円
	支　出	23億3,849万円	22億1,209万円	38億4,741万円	35億892万円
資本的収支	収　入	9億647万円	8億1,762万円	30億5,950万円	18億2,408万円
	支　出	20億8,793万円	18億6,527万円	50億3,860万円	33億8,398万円

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件　名	議決結果	
一般会計			
議案第93号	令和7年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
特別会計			
議案第94号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第95号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第96号	令和7年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第97号	令和7年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
企業会計			
議案第98号	令和7年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員
議案第99号	令和7年度佐野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件　名	賛成	反対	議員名　[議席番号順]																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				堀川悦郎	田邉直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗﨑卓二	澤田裕之	穐原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
議案第93号	令和７年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第94号	令和７年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第96号	令和７年度佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第97号	令和７年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○

※○＝賛成、×＝反対
※菅原達議長は、採決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

一般会計

発言順序	氏　名	発言順序	氏　名
1	大山圭司	10	立川俊一
2	澤田裕之	11	早川貴光
3	慶野常夫	12	久保貴洋
4	穐原政夫	13	滝田洋子
5	茂木明男	14	堀川悦郎
6	鶴見義明	15	横塚剛
7	栗﨑卓二	16	小倉健一
8	田邉直美	17	山菅直己
9	猪瀬朱美	18	谷美枝子

特別会計・企業会計

発言順序	氏　名	発言順序	氏　名
1	鶴見義明	8	大山圭司
2	小倉健一	9	早川貴光
3	小森隆一	10	猪瀬朱美
4	滝田洋子	11	久保貴洋
5	谷美枝子	12	立川俊一
6	澤田裕之	13	横塚剛
7	田邉直美		

令和7年度 決算審査要望書

1 行政のデジタル化の推進と行政DXによる市民サービスの充実

行政手続や庁内業務のデジタル化を着実に進め、市民の利便性向上と業務の効率化を図るとともに、行政サービスや業務のあり方そのものを見直す行政DXへとつなげていくことが求められている。

一方、デジタル化の推進に当たっては、デジタル機器の利用に不慣れな方にも配慮し、誰もが安心して行政サービスを利用できる環境を整えることが重要である。

また、延長窓口及び休日窓口の廃止による市民への影響や、代替のサービスの利用状況を検証するとともに、その周知及び利用支援の充実を図られたい。さらに、デジタル化による利便性の向上と対面によるきめ細やかな支援を両立させ、誰もが利用しやすく、分かりやすい行政サービスの充実に努められたい。

2 防災設備・備蓄の充実とドローンを活用した災害対応力の強化

近年、災害が大規模化・激甚化する中、市民の生命及び財産を守るため、防災設備等の計画的な整備と、災害発生時における迅速な活用体制の確立が求められている。

本市には、災害時に孤立する可能性のある集落が多く想定されており、道路の寸断等が発生した場合には、情報収集や安否確認が困難となるおそれがある。このような状況に備え、災害時に必要となる備蓄品の適正な確保及び計画的な更新を図るとともに、防災設備や資機材の計画的な整備を進められたい。

特に、ドローンは、上空からの被害状況の把握や迅速な初動対応に大きく資するものである。災害用ドローンを迅速かつ効果的に運用できるよう、消防職員の操縦技術及び映像分析等の技術の向上を図るとともに、実践的な訓練を継続して実施し、関係機関との情報共有を含めた運用体制の一層の強化に努められたい。

3 インクルーシブな社会実現に向けた福祉施策のさらなる充実

助け合い、生きがいを実感できるインクルーシブな社会の実現を目指す上で、福祉や子育て施策の充実を図ることは重要である。

こうした認識のもと、障がいの有無にかかわらず、誰もが共に生きることのできるまちづくりを推進するため、障がい児通所給付事業費に係る必要な財源を確保し、必要なサービスを適切に利用できる環境を整えるなど、療育環境の充実を図られたい。

また、地域子ども・子育て支援事業を推進するとともに、子どもや保護者が安心して必要な支援を受けられるよう、きめ細やかな相談支援体制の充実に、より一層努められたい。

4 結婚支援の入口、出会いから結婚、定住までの推進

本市の人口減少と未婚率の上昇は、地域の持続可能性に直結する重要な課題である。特に、若年層の市外流出や出会いの機会の不足、結婚後の生活基盤形成への不安など、結婚に至るまでの過程には複合的な障壁が存在している。

そこで、結婚を望む方に対して、とちぎ結婚支援センター登録支援事業、婚活イベント開催事業及び結婚新生活支援事業などの事業について、効果的な周知や利用者層の拡大、事業間の連携強化などに注力するなど、結婚支援の入口、出会いから結婚、定住までの過程を一体的に支える総合的な結婚支援施策の充実を図り、若年層の定住促進と少子化対策の推進に努められたい。

5 児童生徒の健全育成に資する教育環境の整備

かえで義務教育学校及び城東中学校区の小中一貫校の整備においては、児童生徒の良好な教育環境を確保する観点から、適切なモニタリング体制を確立し、その着実な実施を図られたい。あわせて、義務教育学校のあり方については、児童生徒、保護者、地域住民等の意見を広く聴取し、安全･安心で快適な学校施設及び本市の実情に即した教育環境の整備に万全を期されたい。

また、学校部活動については、引き続き、「部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」に基づき、地域への移行を推進するとともに、現場における諸課題を的確に把握し、指導者バンク等を活用した人材確保を図るなど、児童生徒の健全育成に資する持続可能な運営体制の構築に努められたい。

6 獣害に対する被害防止・安全対策の徹底

有害鳥獣による被害は、耕作放棄地や里山の荒廃といった地域環境の変化を背景としており、極めて深刻な状況となっている。近年、全国的にクマの出没が頻発する中、本市においても、クマによる人身被害が発生しているほか、イノシシやシカ等による農作物への被害も深刻化している。

こうした状況に鑑み、侵入防止柵の設置や捕獲をはじめとする被害防止対策を一層強化するとともに、学校においては、児童生徒の安全を確保するため、配布したクマよけ鈴や各学校に設置のクマ撃退スプレーについて、児童生徒及び教職員に対する使用方法等の徹底を図り、適切かつ有効に活用できるよう、安全対策の一層の充実に努められたい。

7 道路冠水対策及び雨水排水対策の推進

気候変動の影響により、自然災害が激甚化・頻発化しており、道路冠水や法面崩落、河川の増水、氾濫などにより、市民生活を支える道路インフラへの被害が懸念されている。本市においても、近年の集中豪雨等により道路冠水の被害が生じていることから、災害発生時における迅速な道路復旧体制の確保を図るとともに、平時からの道路冠水対策を着実に進められたい。

特に、局地的な大雨による道路冠水の軽減に向け、浸水被害が発生しやすい箇所や排水機能が十分でない箇所を的確に把握し、側溝の新設、既設側溝の改修及び清掃等、地域の実情に応じた雨水排水対策を計画的に推進されたい。

谷（たに）　美枝子（みえこ）　議員
（公明党議員会）

災害時における被災者支援と地域防災力の強化について

Q スマートフォン等で災害情報を収集することが難しい方への対応について、どのように考えているのか伺いたい。

A **行政経営部長**

スマートフォン等インターネットを利用されない方に対しては、防災行政無線による情報発信を基本とし、聞き取りにくい場合には、フリーダイヤルによって放送内容の確認ができるほか、佐野ケーブルテレビでの情報発信も行っています。

また、非常時には町会長への直接の電話連絡、市職員や消防団員による広報車等での広報活動も実施しています。

高齢者など特に情報を得ることが難しい方に対しては、町会や自主防災組織、民生委員など、地域の繋がりを活用した声掛けや情報提供も重要であると考えています。

その他の質問

☆豪雨災害時における情報伝達と避難行動について

堀川（ほりかわ）　悦郎（えつろう）　議員
（創政クラブ）

「次世代に選ばれる中心市街地」の創造について

Q 足銀跡地を中心とした将来ビジョンと県道桐生岩舟線との連携開発について、どのように考えているのか伺いたい。

A **産業文化スポーツ部長**

足銀跡地を中心とした将来ビジョンについては、佐野市中心市街地活性化基本計画のまちなかの整備方針にあるとおり、まちなかの回遊性向上に繋がるよう、民間活力を導入しながら進めていきます。

また、県道桐生岩舟線整備事業が足銀跡地を含む本町工区でも進められており、景観や居住環境などへの影響や、道路整備に伴い生じる空き地の有効活用などへの課題も考えられるため、事業の進捗を見据えつつ、足銀跡地の利活用を含め、調査研究していきます。

その他の質問

☆佐野市立学校の可能性を見据えた「佐野型教育モデル」の構築と次期学習指導要領への対応について

滝田（たきた）　洋子（ようこ）　議員
（日本共産党議員団）

人工鼻の日常生活用具給付について

Q 人工鼻の日常生活用具給付の品目への追加について、他の自治体では、人工鼻は日常生活用具給付等事業の対象であるが、本市では未導入である。本市において、同事業に人工鼻を追加する考えはあるか伺いたい。

A **こども福祉部長**

人工鼻の日常生活用具給付等事業への追加については、利用者の状況やニーズの把握が必要であると認識しています。そこで、当事者をはじめとする関係者や関係機関のご意見を丁寧にお伺いするとともに、他市の運用や給付状況も参考に、適切な基準等を整備するなど検討していきたいと考えています。

今後も障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、本事業の充実に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆高齢者福祉センターの利用について

☆国民健康保険税の滞納による「特別療養」について

☆給食費無償化に係る保護者への給付について

※人工鼻とは…

人工鼻とは…気管切開や人工呼吸器の管理などで失われた鼻の「加温・加湿・ろ過」の機能を代行する医療機器です。

横塚　剛　議員
（創政クラブ）

本市の防災について

Q 災害時における市内特別養護老人ホームの連携について伺いたい。

A **健康医療部長**
市内特別養護老人ホーム間の連携に向けた取り組み状況についてですが、本市には福祉の充実、向上及び発展を目的として、社会福祉法人が相互に連携、協力する社会福祉法人連絡会があり、令和8年8月19日に同連絡会と市との意見交換会が開催されました。この意見交換会において、特別養護老人ホームの災害対応に関し、災害の規模や被災状況によっては、個々の施設だけで介護サービスを継続することが困難となることも想定されるため、市内の特別養護老人ホーム間における連携や相互支援の可能性と課題について、意見交換する機会を設けてはどうかと提案しました。意見交換を踏まえ、連絡会終了後、特別養護老人ホームを運営する法人の関係者が協議し、災害時の施設間連携に関する勉強会を開催する方向となりました。

その他の質問
☆国道50号沿線開発について

早川　貴光　議員
（未来の佐野を明るくする会）

デジタル地域通貨「さのまるペイ」について

Q 行政コストと事業効果をどのように評価しているのか伺いたい。

A **市長**
8億9，600万円の96．27％に当たる8億5，878万2，423円が市内で消費されたことは、物価高騰の影響を受けている市民の皆様の生活の下支えといった役割を果たすことができ、さらには地域事業者の売上げ拡大にも波及効果が認められました。
なお、事務費については、予算額9，691万9，000円に対し、速報値ではカードの仕分、梱包配送に係る委託料、相談窓口の設置及び運営に係る委託料、会計年度任用職員に係る人件費などで約4，010万円の決算額を見込んでいます。これは総事業費の約4％にあたりますが、これら事務経費を有効に活用し、より効率的な事務執行に努めた結果、円滑に市民の皆様にカードをお配りすることができ、効果的にご利用いただけたものと認識をしています。

その他の質問
☆佐野市におけるデジタル人材育成及びDX推進体制について
☆飲食料品に係る消費税率の引き下げが本市に及ぼす影響について

茂木　明男　議員
（創政クラブ）

みかもクリーンセンターについて

Q みかもクリーンセンター設置期間延長について、町谷町、関川町、黒袴町の地元3町会に対して本市の考えを伺いたい。

A **市長**
みかもクリーンセンターについては、長年にわたり町谷町、関川町、黒袴町の地元3町会の皆様から、施設の設置及び運営に対する多大なご理解とご協力をいただいていることに、まず深く感謝を申し上げます。
設置期間の延長については、みかもクリーンセンター庁内検討委員会において慎重に検討を重ねた結果、基幹的設備の改良工事を実施し、現在地にて引き続き施設を稼働させる方針を決定しました。この決定を受け、変更協定書の締結に至るまでの地元3町会の皆様のご理解とご協力に対し、改めて心より感謝を申し上げます。

その他の質問
☆避難行動要支援者対策事業について
☆災害時の乳児や妊産婦の方の避難行動について
☆本市のスポーツと運動公園について

パソコン、タブレット、スマートフォンで会議録をご覧になれます
佐野市議会会議録

川嶋　嘉一（かわしま　かいち）　議員
（令和みらい）

天明鋳物によるまちづくりの推進について

Q 天明鋳物生産用具及び製品の重要有形民俗文化財国指定後、本市が天明鋳物伝承保存会と共に取り組んでいることについて伺いたい。

A **教育部長**

天明鋳物伝承保存会とは、随時、連絡会議を開催し、情報の共有や意見交換を行いながら、貴重な資料の保存及び継承について協議を重ねています。現在は、天明鋳物の生産用具及び製品を保存、展示するための施設整備を検討しています。

また、資料の状態や種類に応じた適切な保存環境の確保、展示方法及び活用方策について、他自治体の事例を参考にするとともに、実際に収蔵施設を視察するなど調査研究を進めています。

今後も保存会との緊密な連携を図りながら、天明鋳物が持つ貴重な歴史的・文化的価値を守りつつ、次世代へ確実に継承できるよう、保存、活用に向けた取り組みを着実に推進していきます。

その他の質問
☆佐野市と文化団体との関わりについて

栗﨑　卓二（くりさき　たくじ）　議員
（創政クラブ）

佐野市立義務教育学校の検証について

Q 佐野市義務教育学校検証委員会について、今回の検証でどのような効果があると考え、今後の義務教育学校整備推進に向けどのように生かしていくのか、現時点の当局の考えを伺いたい。

A **教育部長**

今回の検証は単なる振り返りにとどまらず、今後の学校づくりを確かな根拠に基づいて進めるための重要な取り組みと位置づけています。

第1に、あそ野学園義務教育学校及び葛生義務教育学校の両校における学力等の変容や異学年交流の効果、学校運営上の課題や施設の利用状況などを把握し、課題の解決に繋げていきます。

第2に、教職員、保護者、地域の方々から率直な声を集め、運営上の課題を整理し、次の学校整備に改善策として反映させていきます。

第3に、検証結果を今後の整備計画や学校運営に具体的に生かし、検証の成果が実際の学校づくりに繋がるよう取り組んでいきます。施設の整備、教育の内容、教職員の体制、地域との連携など全ての面に反映させ、児童生徒にとって、より良い学びの場づくりに努めていきます。

その他の質問
☆佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画について
☆不登校児童生徒支援について

立川　俊一（たちかわ　しゅんいち）　議員
（佐野市の明日をつくる会）

学校における医療的ケア児支援について

Q 現在の学校看護師の勤務時間の見直し、代替看護師や訪問看護ステーション等の活用も含め、医療的ケア児の在校時間帯に医療的ケアを途切れさせない体制を構築することの必要性について、本市の見解を伺いたい。

A **教育長**

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律では、保護者が付き添わなくても、子供が適切な医療的ケアが受けられるよう、看護師の配置などの必要な措置を講じることが学校設置者の責務とされています。

本市では、さわやか健康指導員を配置し、医療的ケアが必要な時間帯に合わせて勤務時間を調整しながら、個々の児童生徒に対応しているところです。教育委員会としては、医療的ケア児がより安心して学校生活を送ることができるよう、今後も勤務時間の見直しや増員も含めて、関係部局と連携を図りながら支援体制の更なる充実に向けて取り組んでいきます。

その他の質問
☆病児対応型保育について
☆学校教育について

猪瀬（いのせ）　朱美（あけみ）　議員
（未来の佐野を明るくする会）

男女共同参画の視点を取り入れた防災対策について

Q 災害時の避難所における性暴力、盗撮等を予防するための対応策について伺いたい。

A **市長**
避難所における性暴力、盗撮等を防止するためには、環境づくりが重要であると認識しています。具体的には、男女別の更衣室、トイレ、女性専用の授乳スペースの確保や照明の設置、死角となる場所の点検など、防犯に配慮した避難所環境の整備が挙げられると考えています。

また、避難所の運営においては、避難者同士による見守りや巡回など、自主防災組織や地域の方々の協力を得ながら、防犯対策を講じることも必要になると考えています。今後、毎年、土砂災害警戒区域を有する地域で行う土砂災害防災訓練や、来年度実施予定の総合防災訓練といった機会を捉え、実践的な避難所運営訓練の実施を検討しています。

本年度は、まず訓練内容を整理し、これらの訓練を通して性暴力や盗撮等の防止についても、意識及び対応力の向上を図りたいと考えています。

その他の質問
☆さのまるエコ・アクション・ポイントについて

蘿原（はぎわら）　政夫（まさお）　議員
（令和みらい）

一級河川の旗川に関する整備計画について

Q 旗川水域の氾濫に対する当該地域の市民の思いを把握しているのか、本市としてどのように捉えているのか伺いたい。

A **都市建設部長**
当該地域については、7月17日の豪雨による越水被害の情報を受け、市職員が現地確認をした際、住民の方から、また家が浸水することへの不安、早く河川の整備をしてほしいとの話を伺っています。本市としても、当該地域にお住まいの方々の不安や要望を把握しており、早急な整備が必要な箇所と捉えています。

そのため、当該地域の方々からの思いを県へ伝えるとともに、現地確認や協議をした上で、河川整備の促進をお願いしているところです。

その他の質問
☆こどもまんなか社会と、かえで義務教育学校について

小倉（おぐら）　健一（けんいち）　議員
（政友みらい）

施設一体型義務教育学校整備の検証について

Q このたび、佐野市内在住の元小・中・高の校長先生らで組織される「佐野市の学校づくりを考える会」より要望書が提出されている。要望書の内容と受け止めについて伺いたい。

A **教育部長**
主に次の4点のご要望をいただいています。

1つ目は、施設一体型義務教育学校の成果や課題について、アンケート等により義務教育学校とほかの小中学校との客観的な比較検証を実施すること。

2つ目は、学校統合の際は、施設一体型のほか、多様な選択肢を検討すること。

3つ目は、検証結果を公表し、地域住民と十分に対話しながら統合を進めること。

4つ目は、統合対象の学校ごとに保護者の意向を確認することです。

これらのご要望を真摯に受け止め、今後は検証委員会の結果を踏まえながら、地域の皆様と対話を重ね、丁寧に義務教育学校の整備に取り組んでいきます。

その他の質問
☆令和8年7月集中豪雨について

鶴見 義明 議員
（日本共産党議員団）

災害対策について

Q 地震によっては一時的に停電になり、その後、電気が復旧したときに火災が発生する、いわゆる通電火災という現象があり、第一にブレーカーを落とすことが大事である。
　現在、各地で頻繁に起きている地震に備えた感震ブレーカーが注目されているが、感震ブレーカーの有効性について認識を伺いたい。

A **消防長**
　感震ブレーカーは、震度5強相当の揺れを感知した際に、自動的に電気を遮断する装置であり、地震発生時における電化製品の破損及び転倒などが原因による火災や、地震後の停電が復旧された際に起こる火災の発生防止に有効であると認識しています。

その他の質問
☆市長に対する不起訴の決定について
☆学用品等の保護者負担軽減について

慶野 常夫 議員
（政友みらい）

延長窓口および休日窓口の廃止について

Q 令和8年10月1日より延長窓口及び休日窓口が廃止となった。市民課の延長窓口及び休日窓口、田沼、葛生行政センターの延長窓口、また現在休止となっている各課の延長窓口等を廃止することに至った理由を伺いたい。

A **行政経営部長**
　令和7年度から、窓口関係課により延長窓口と休日窓口の存続について検討を重ねてきました。検討に当たっては、全ての取扱い業務について、現在の状況と廃止した場合の影響を1件ずつ確認しました。
　その結果、コンビニ交付サービスや佐野新都市行政サービスセンターの窓口での取扱いに加え、郵送での受付、執務時間外の個別対応等により、廃止となっても市民サービスに大きな影響が出ないことが確認できたため、今回の廃止に至りました。

その他の質問
☆都市公園における暑さ対策について
☆バイオマス発電施設建設における市の対応と地域環境について

長浜 成仁 議員
（佐野市の明日をつくる会）

若い世代の未来を守る取組について

Q ＨＰＶワクチン接種とがん検診の組合せは、子宮頸がん予防に効果的と考えるが、本市の見解を伺いたい。

A **健康医療部長**
　本市においては、厚生労働省の見解のもとに、定期接種対象者に学校を介したチラシの配布や、ホームページ等による子宮頸がん検診受診への周知を実施しています。
　ＨＰＶワクチンの接種率及び子宮頸がん検診の受診率の更なる向上を目指し、関係機関等と連携するなど、今後も継続して効果的な啓発の仕方を検討していきます。

その他の質問
☆指定管理者制度の在り方調査特別委員会最終報告書（調査結果）及び不起訴処分後の市長の説明責任について

澤田（さわだ）　裕之（ひろゆき）　議員
（創政クラブ）

葛生文化センターについて

Q 公共施設の在り方を検討する際には、行政側の視点だけではなく、実際に施設を利用している方や地域で暮らす方々の声を反映することも大切である。葛生文化センターの今後の整備方針を決定する過程で、地域住民や利用者の意見を取り入れる考えについて伺いたい。

A **教育部長**

葛生文化センターは、地域の皆様が日常的にご利用いただいている大切な施設であり、整備の方針を決める際には、実際にお使いいただいている市民の皆様や地域の団体のご意見をしっかりと伺うことが重要であると考えています。

いただいたご意見を真摯に受け止め、十分に検討した上で、地域に根差した施設となるよう丁寧なプロセスを踏みながら方針の決定に取り組んでいきます。

その他の質問

☆太陽光発電設備について
☆本市における学校給食について

久保（くぼ）　貴洋（たかひろ）　議員
（創政クラブ）

佐野市のネーミングライツについて

Q 令和9年度にリニューアルオープン予定の佐野市文化会館のネーミングライツ導入について見解を伺いたい。

A **市長**

佐野市文化会館については、ネーミングライツ制度の導入対象施設として考えています。制度の導入に際しては、佐野市ネーミングライツ導入に関する基本方針等に基づき、進めることとなっており、ネーミングライツ料の金額については、施設の利用実績や他自治体の類似事例等を参考に、当該施設の広告媒体としての価値を総合的に検討することとしています。

令和6年4月から、リニューアル工事により休館となっており、現段階では適切なネーミングライツ料設定のための利用実績が把握できない状況であるため、リニューアルオープン後、利用実績を的確に把握し、可能な限り早期にネーミングライツ制度の導入を進めていきます。

その他の質問

☆佐野どまんなか花火大会について
☆令和8年7月17日集中豪雨について

※ネーミングライツとは…
企業が公共施設やスタジアムなどに自社の社名やブランド名をつける権利を買い、その対価としてお金を払う仕組みのことです。

小森（こもり）　隆一（りゅういち）　議員
（公明党議員会）

佐野市気候変動適応計画及びゼロカーボンシティさの実現に向けたロードマップについて

Q ゼロカーボンシティさの実現に向けた市民関係団体、事業者の取り組み強化について伺いたい。

A **農林環境部長**

カーボンニュートラルの実現に向け、市の関係部署や地域の関係機関だけでなく、市民や市内事業者等が主体性を持ち、認識の共有や連携、協働を図りながら、それぞれの役割を積極的に果たしていくことが重要であると考えています。

本市では、市民、関係団体、事業者の取り組み強化を図るための連携組織として、本年2月にゼロカーボンシティさの共創プラットフォームを設立し、推進体制の整備を進めています。

今後は、このプラットフォームの活動を通じ、市内事業所等のニーズを把握するとともに、各種セミナーや交流会等を開催しながら、それぞれの分野における推進体制の整備や連携体制の構築に向けた取り組みを進めていきます。

その他の質問

☆市長に対する告発について
☆小中一貫校整備について

田邉（たなべ）　直美（なおみ）　議員
（創政クラブ）

女性が輝く社会の実現について

Q 本市が国の認定を受けるにあたり、どのような課題意識や取り組みが評価をされたのか、背景を伺いたい。

A **総合政策部長**

人口ビジョンの令和6年度改訂版において、年齢5歳階級別の純異動率を分析したところ、男性は10代で転出する人口が20代の転入で約8割回復しているのに対し、女性は2割しか回復していないという状況でした。本市の人口減少の大きな要因は、若者の転入より転出が多く、高校等を卒業した若者が、就職や進学の際に、東京圏に転出して戻ってこないという、若者、特に女性の社会減に危機感を持っており、その背景にある職場のジェンダーギャップの解消に着目していました。

現在、全国97自治体の一つとして、有識者や先行自治体による講演会、他自治体との意見交換等を通じ、国のサポートを受け、取り組むことになりました。

令和８年第３回定例会（9月定例会）審議された議案等と結果

第3回定例会（9月定例会）は、9月4日（金）から10月1日（木）までの28日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
決議案第2号	小倉健一議員に対して猛省を求める決議	原案可決	賛成多数（除斥1名）
報告第7号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について 【令和8年度の事業計画及び予算並びに令和7年度の決算】	報告	—
報告第8号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について 【令和8年度の事業計画及び予算並びに令和7年度の決算】	報告	—
報告第9号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について 【令和8年度の事業計画及び予算並びに令和7年度の決算】	報告	—
報告第10号	水道事業会計継続費精算報告書の提出について 【小中浄水場整備事業】	報告	—
報告第11号	令和7年度健全化判断比率及び資金不足比率について 【令和7年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報告	—
報告第12号	市長の専決処分事項の報告について 【令和8年3月7日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第13号	市長の専決処分事項の報告について 【令和8年6月17日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第86号	市長の専決処分事項の承認について 【令和8年度佐野市一般会計補正予算（第4号）歳入歳出予算の総額にそれぞれ203,500千円を追加】	承認	賛成全員

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
議案第87号	佐野市職員定数条例の改正について 【職員定数を変更するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第88号	佐野市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について 【災害応急作業等手当の支給額を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第89号	佐野市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の改正について 【地方自治法施行規則の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第90号	佐野市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び佐野市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の改正について 【家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準及び乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第91号	佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び佐野市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の改正について 【廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第92号	化学消防車の取得について 【化学消防車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第100号	令和8年度佐野市一般会計補正予算(第5号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,252,918千円を追加、債務負担行為、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第101号	令和8年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号) 【歳入予算の補正】	原案可決	賛成全員
議案第102号	令和8年度佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ491,809千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第103号	令和8年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,183千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第104号	令和8年度佐野市田島・船津川産業用地造成事業特別会計補正予算(第1号) 【継続費の補正】	原案可決	賛成全員
議案第105号	令和8年度佐野市一般会計補正予算(第6号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ20,000千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第106号	損害賠償の額の決定及び和解について 【令和8年8月26日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	原案可決	賛成全員
陳情第3号	会計年度任用職員の勤務条件に関する陳情 【詳細は16ページに記載】	不採択	賛成少数
陳情第4号	非現業の職員の労働基準監督に関する陳情 【詳細は16ページに記載】	不採択	賛成少数

決議案・陳情の審査結果

決議案第２号　小倉健一議員に対して猛省を求める決議

▶全文は、こちらからご覧になれます。

（提出者）長浜成仁議員（賛成者）鶴見義明議員、早川貴光議員により、小倉健一議員に対し、猛省を求める決議案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成多数で可決されました。

陳情第3号　会計年度任用職員の勤務条件に関する陳情

▶全文は、こちらからご覧になれます。

▼陳情人

全栃木教職員組合　執行委員長　谷　秀夫

▼陳情の要旨

会計年度任用職員の休暇制度を、宇都宮市と同様のものとしてください。

▼審議結果

総務常任委員会に付託され、賛成少数で不採択となりました。本会議においても賛成少数で不採択となりました。

陳情第4号　非現業の職員の労働基準監督に関する陳情

▶全文は、こちらからご覧になれます。

▼陳情人

全栃木教職員組合　執行委員長　谷　秀夫

▼陳情の要旨

市町長の非現業の職員に対する労働基準監督機関としての体制を整備し、学校をはじめとしたすべての公務職場で労働諸法規が順守される職場環境を実現してください。

▼審議結果

総務常任委員会に付託され、賛成なしで不採択となりました。本会議においても賛成少数で不採択となりました。

賛否が分かれた議案等

議案等番号	件　名	議決結果	賛成	反対	議員名［議席番号順］																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
					堀川悦郎	田邉直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗﨑卓二	澤田裕之	篭原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
決議案第2号	小倉健一議員に対して猛省を求める決議	原案可決	12	10	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	除斥	○	議長	×	○	○	○	×	×
陳情第3号	会計年度任用職員の勤務条件に関する陳情	不採択	9	14	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	議長	×	×	○	○	×	×
陳情第4号	非現業の職員の労働基準監督に関する陳情	不採択	2	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	×	×

※○＝賛成、×＝反対　　※菅原達議長は、採決に加わりません。

※除斥とは議会における審議の公正を保つために、議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議に参加することができないとする制度です。

佐野市の小学生が市議会（一般質問）を傍聴しました

市議会を傍聴して

佐野小学校　6年
後藤（ごとう）　梨々沙（りりさ）さん

市議会を傍聴して私が一番に感じたことは、「大人の学級会」のようだということです。

学校の学級会が「クラスのこと」を、市議会は「市のこと」をより良くするために話し合う場でした。そして、市の幸せを考える姿は、私たちがクラスの目標に向かって真剣に取り組む姿と一緒でした。特に、防災について、豪雨災害時の通行止めに関する内容が印象に残っています。市民を守る対策が市民の幸せにつながっているのだと感じました。

議会を傍聴して、私も佐野市のためにできることを考えていきたいと思いました。今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

傍聴者の声

初めて市議会に参加して

石塚小学校　6年
江田（えだ）　蓮人（れんと）さん

ぼくは初めて市議会の様子を傍聴しました。今回は学校のことをテーマに話し合っていたので、興味がわきました。

石塚小学校は、二年前に校舎の塗装工事を行いました。広い校舎を塗り替えるのには、たくさんの費用が必要だと思います。そのことについても、もしかしたら市議会で話し合っていたのではないかと思うと、ありがたいなと感じました。

市民のために、真剣に話し合っている姿は素晴らしかったです。

市議会を見学して考えたこと

栃本小学校　6年
矢島（やじま）　昊樹（こうき）さん

ぼくは初めて市議会を見学し、とても貴重な経験をすることができました。最近、災害がたくさん起きていますが、だれもが安全に暮らせるように、市議会で議員さんたちが、防災について熱心に話し合っていることが分かりました。そのおかげで、毎日楽しく学校生活を送ることができるのだと思いました。

これからは、ぼくたちを支えてくれる人たちに、感謝の気持ちをもちながら生活をしていきたいです。市議会を見学することができてとてもよかったです。ありがとうございました。

令和8年 12月定例会日程（案）

令和8年第4回定例会の日程は、11月27日（金）の議会運営委員会で内定し、12月4日（金）の本会議で決定します。

11/23日（祝）	24日（火）	25日（水）	26日（木）	27日（金）	28日（土）	29日（日）
		請願・陳情 提出期限（17:00）		10:00 議会運営委員会		
30日（月）	12/1日（火）	2日（水）	3日（木）	4日（金）	5日（土）	6日（日）
				10:00 本会議 （開会、議案説明）	休会	休会
7日（月）	8日（火）	9日（水）	10日（木）	11日（金）	12日（土）	13日（日）
休会	10:00　本会議 （議案質疑）	10:00　本会議 （一般質問）	10:00　本会議 （一般質問）	10:00　本会議 （一般質問）	休会	休会
14日（月）	15日（火）	16日（水）	17日（木）	18日（金）	19日（土）	20日（日）
10:00　本会議 （一般質問）	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会	休会
21日（月）	22日（火）	23日（水）	24日（木）	25日（金）	26日（土）	27日（日）
本会議 （委員長報告、質疑、討論、表決、閉会）						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が６件以下の場合は午前10時に開会し、７件以上の場合は午前９時に開会となります。

佐野市議会報告会

申し込み不要です。
お気軽にご参加ください。

市議会議員と意見交換してみませんか？

第22回 佐野市民スポーツ大会

10月11日に開催された第22回佐野市民スポーツ大会で佐野市議会チームが団体対抗リレーに参加しました。

第1組目に出場し、第6着でゴールしました。

編集後記

【編集委員会】
委員長　早川　貴光
委員　澤田　裕之
委員　小森　隆一
委員　小倉　健一
委員　鶴見　義明

9月定例会は9月4日から10月1日までの28日間開催されました。今定例会では、19人が一般質問に登壇し、さまざまな視点から論戦を交わしました。また、令和7年度決算審査では、一般会計、特別会計及び企業会計に延べ31人が登壇し、活発な質疑が行われました。第100号という節目を迎え、議会の歩みを振り返るとともに、情報発信の責任を改めて感じています。これからも、議会活動をより身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。そして市民の皆さまに寄り添い、地域の未来をともに考える議論を重ねていきます。（小森記）

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町１番地
電話：0283-20-3036　ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp